

令和4年度 総括研究報告書	【総括】	1
---------------------	------	---

目 次

I. 総括研究報告書		
HIV 感染症及びその併存疾患や関連医療費の実態把握のための研究 /奈良県立医科大学 野田龍也	【総括】	1
A. 研究目的	【総括】	2
B. 研究方法	【総括】	2
C. 研究結果	【総括】	4
D. 考察	【総括】	4
E. 結論	【総括】	5
II. 資料一覧	【総括】	6

【資料1】 附属資料1_第159回エイズ動向委員会

【資料2】 附属資料2_第160回エイズ動向委員会

【資料2】 附属資料3_ HIV 治療中の患者の年間医療費推計

この目次での「【総括】(数字)」は、本文最下部における「令和4年度_総括 数字」ページと対応する。たとえば、この目次で「【総括】 1」とある場合は、本文における目次表記は「令和4年度_総括 1」となる。

令和4年度 分担研究報告書	【分担】 1-1
---------------------	----------

目 次

I. 分担研究報告書	
NDB 集計定義に基づいて算出された 2016 年～2020 年における日本の HIV 治療の変容について / 分担 名古屋医療センター 横幕能行・今橋真弓	【分担】 1-1
A. 研究目的	【分担】 1-1
B. 研究方法	【分担】 1-1
C. 研究結果	【分担】 1-1
D. 考察	【分担】 1-2
E. 結論	【分担】 1-2
II. 資料一覧	【分担】 1-4
【資料 1】 表 1：年度別トップ 10 レジメンの内訳	
【資料 2】 表 2：Top10 処方されている On Treatment の患者割合（都道府県別）	
【付表 1】 医薬品マスタ	

この目次での「【分担】(数字)」は、本文最下部における「令和4年度_分担 数字」ページと対応する。たとえば、この目次で「【分担】 1-1」とある場合は、本文における目次表記は「令和4年度_分担 1-1」となる。

令和4年度 分担研究報告書 【分担】 2-1

目 次

I. 分担研究報告書

抗 HIV 薬に関する医療経済分析/分担 国立大学法人千葉大学 谷口俊文・佐藤大介
..... 【分担】 2-1

A. 研究目的 【分担】 2-1

B. 研究方法 【分担】 2-3

C. 研究結果 【分担】 2-4

D. 考察 【分担】 2-5

E. 結論 【分担】 2-5

II. 資料一覧 【分担】 2-6

【資料1】【方法：表1】財政影響分析モデルにおける分析の前提一覧

【資料2】【方法：図1】財政影響分析モデル図

【資料3】【方法：図2】TreeAge Pro で構築した財政影響分析モデルのスクリーンショット

【資料4】【R-図1】本分析モデルの基本解析

【資料5】【R-図2】基本分析結果（財政影響）

【資料6】【R-表1】

参考資料

令和4年度 分担・協力研究報告書 【分担】 3-1

目 次

I. 分担研究報告書
血友病患者の大腿骨近位部骨折の医療情報および関連医療費の実態把握のための研究
/協力 奈良県立医科大学 西村優輝・稲垣有佐 【分担】 3-1

A. 研究目的 【分担】 3-1

B. 研究方法 【分担】 3-2

C. 研究結果 【分担】 3-3

D. 考察 【分担】 3-4

E. 結論 【分担】 3-5

II. 資料一覧 【分担】 3-6

【資料1】【病名マスタ】血液凝固異常症

【資料2】【外来医薬品】血液凝固異常症

【資料3】【入院医薬品】血液凝固異常症

【資料4】大腿骨骨折集計マスタ・病名

【資料5】大腿骨骨折集計マスタ・術式

【資料6】血友病リハビリテーション集計マスタ

【資料7】入院日数

【資料8】入院時年齢

【資料9】年度別リハビリテーション分類別血友病患者数

【資料10】性年齢階級別リハビリテーション分類別血友病患者数

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 【刊行一覧】 1